

The Metropolitan Music

創立記念演奏会

～栃木育ちの若きソリストたちの共演～



ソプラノ
西口 彰子



ピアノ
黒岩 航紀



チェロ
宮地 晴彦
ピアノ伴奏: 村山 絢子



ヴァイオリン
鶴野 紘之

栃木から☆輝く☆世界へ

2014年 10月3日(金)

18:30 開場 19:00 開演

宇都宮市文化会館 大ホール

チケット 3,000円(税込) 全席自由

プレイガイド

宇都宮市文化会館プレイガイド	028-634-6244
上野楽器	028-633-4286
下野新聞プレイガイド(東武百貨店2F)	028-651-5255
小山市立文化センター	0285-22-9552
小山市生涯学習センター	0285-22-9111
鹿沼市民文化センター	0289-65-5581

お問い合わせ: The Metropolitan Music 設立準備委員会
(一般財団法人The Metropolitan Music 9月創立予定)
弦楽器GIRASOLE 050-3656-1207
FAX: 028-637-0838 MAIL: m.j.girasole@gmail.com

後援: 読売新聞社 朝日新聞社 下野新聞社 エフエム栃木 栃木放送 とちぎテレビ 上野楽器 栃木県教育委員会 宇都宮市教育委員会
協賛: 弦楽器GIRASOLE マックコーポレーション 栃木チェロ協会 アストラム株式会社

The Metropolitan Music 創立記念演奏会 演奏者プロフィール



西口彰子 (ソプラノ)

栃木県小山市出身、県立宇都宮女子高等学校を卒業。東京芸術大学声楽科卒業。卒業時に同声会賞受賞。同大学院独唱科に入学後、2009年8月より、ニューヨーク、マネス音楽院修士課程入学、Arthur Levy, Lucy Arner各氏に師事し、2011年5月に卒業。2011年9月よりマネス音楽院プロフェッショナル・スタディ・ディプロマコースに奨学生として進学、2013年5月に卒業。2009年11月、マネス音楽院コンサートホールにて行われた初演オペラ「Night of Pity」にShaking Mask役で出演。2010年8月、カナダ・モントリオールにて行われたサマープログラム「IVAI」に参加。2011年7月、イスラエルで行われたサマープログラム「IVAI」でのオペラ「ナクソス島のアリアドネ」ナヤデ役を好演。2012年7月、オーストリアで行われたサマープログラム「Tyrolean Opera Program」に特待生として招待されオペラ「リゴレット」ジルダ役を演じる。2012年5月ニューヨークで行われたArkadi Foundation Opera Idol Competition 2012第2位受賞。同時期ベートーベン「第九」のソリストとしてThe Choral-Orchestral Ensemble of New Yorkと共演、好評を得る。地元では2010年7月、小山と表参道にて満員の観客の中リサイタルを行う。2012年8月小山にて、高田正人氏をゲストに東日本大震災チャリティーコンサートを行った。また2014年1月には宇都宮・東京にて、ニューヨークより共演者を迎えリサイタルを成功させる。これまで岡田理恵子、中村浩子、朝倉蒼生、寺谷千枝子の各氏に師事。現在ベルリン在住、John Norris氏、Peter Berne氏のもと更に研鑽を積む。2012年10月成蹊学園100周年記念第九演奏会、ソプラノソリスト。小山評定ふるさと大使。とちぎ未来大使。



黒岩航紀 (ピアノ)

1992年神奈川県生まれ。4歳から栃木県で過ごし、現在は千葉県在住。宇都宮市立横川中学校卒業。東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、東京芸術大学音楽学部ピアノ科を首席で卒業。卒業時に大賀典雄賞、アカンサス音楽賞、安宅賞、同声会賞を受賞。2005年第59回全日本学生音楽コンクール中学校の部東京大会第2位。2008、2009年『春のピアノ研修・バリ』に参加。ファイナルコンサート出演。2010年高等学校より選抜派遣され、北京中央音楽院、及び上海音楽院での『中日青少年交流演奏会』に出演。2013年公益財団法人青山財団奨学生。2013年第11回東京音楽コンクールピアノ部門第1位、及び聴衆賞受賞。ピアノソロ以外に、声楽、他楽器とのアンサンブル、特にサクソなど管楽器との演奏も多く行っている。これまでに梅田俊明指揮日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、山下一史指揮藝大フィルハーモニアと共演。アンリ・バルダ、アンヌ・ケフェレック、ミハイル・ヴォスクレセンスキー、レモ・レモリ、各氏のレッスンを受講。芹沢直美、秦はるひ、江口玲、各氏に師事。現在、東京芸術大学大学院音楽研究科修士課程1年に在籍。



宮地晴彦 (チェロ)

3歳よりチェロを始める。宇都宮短期大学附属高等学校音楽科、桐朋学園大学、桐朋学園大学ソリストディプロマを経て、ミュンヘン音楽大学大学院を卒業。第68回日本音楽コンクール第3位。ヤノシュ・シュタルケル、バーナード・グリーンハウス、他多数のマスタークラスや、小沢征爾音楽塾、キジアーナアカデミー、他の世界各地の音楽祭に参加。これまでにチェロを倉田澄子、ワルター・ノータス、清水勝雄、宮田豊の各氏に、室内楽を岡田伸夫氏らに師事。アウグスブルグ市立歌劇場を経て、プフォルツハイム市立歌劇場にて首席チェロ奏者を務める。2013年に帰国、オーケストラの首席奏者などの客演、ソロや室内楽など、日本を拠点に活動している。



鶴野紘之 (ヴァイオリン)

1990年、栃木県宇都宮市生まれ。4歳よりヴァイオリンを始める。東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学音楽学部を経て、現在、同大学修士課程在籍。玉井菜採、ジェラルド・プーレ両氏の下で研鑽を積む。フランス音楽、フォレ、サン＝サーンスをレパートリーとする。活動はソロ、室内楽、オーケストラのエキストラなど多岐に渡る。これまで故山内妙子、沼田園子、堀正文、オレグ・クリサ、ピエール・アモイヤル各氏に師事。室内楽を澤和樹、東誠三、市坪俊彦の各氏に師事。現在、玉井菜採氏に師事。マスタークラスにてパスキエ、B.ガリツキ、ザハール・ブロン、コンスタンティン・クルカ、クリストフ・ブリエ各氏に指導を受ける。東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校にて行われた公開レッスンに推薦され、ルイス・カプラン氏より指導を受ける。2001年栃木県学生音楽コンクール弦楽器部門第1位、同年日本演奏家コンクール1位無し第2位、2002年全日本学生音楽コンクール東京大会奨励賞、2008年横浜国際音楽コンクール1位無し第2位。2008年、東京芸術大学音楽学部附属音楽高等学校の代表に選出され、第4回国立音楽大学附属音楽高等学校による招待演奏会にて演奏。2009年、河口湖ヴァイオリンセミナー2009にて最優秀賞受賞、選抜者によるコンサート「新しい風」に出演。2011年、フランスのニースにて開催されたニース国際音楽アカデミーにおいて選抜者コンサートで演奏。2012年、東京芸術大学モーニングコンサートにて高関健指揮芸大フィルハーモニアと協奏曲を共演。好評を博す。

一般財団法人メトロポリタンミュージック・The Metropolitan Music

当財団は、質の高い音楽芸術の鑑賞や創造活動を主たる目的とし、地域に密着した演奏会の開催を通し、日本の音楽文化の発展向上を目指す。

音楽普及活動の一環として、芸術性豊かな才能ある若い演奏家を発掘・育成・支援する。併せて、音楽に関する国際交流を図り、地域から日本、日本から全世界へと音楽を介して世界平和に貢献することを目的とする。